



家族で過ごす時間は
ひだまりのあたたかさ
笑顔も溢れる



雪道を踏み出すように
しっかりと生きていくための
ひとりの時間



家族だから「空気」で感じあう

「言葉」で伝えあうことだけでなく、伝えきれない心の内側を
そっと気づくことができる「空気」を大切にしたい。

居心地のいい家族関係を保つために、家族がいつも団結して同じことをしたり、広告のイメージ画像のように、いつもぴったり寄り添って行動する必要はないと思います。家族がストレスなく一緒に過ごすためには、それぞれのパーソナル・スペースを尊重して、お互いが一緒にいても居心地良く、邪魔にならない空間を家庭の中に創造する必要があります。

どうしたらいいかわからない方へ

まず「頭のよい子が育つ家」のつくり方を読んでください。きっと、家族のあり方がみえてくるはずです。

今まで読んだ住宅関連の本は構造についてのものが多数を占めていました。今回読んだこの本は住宅建築考える上で何が必要なのかを教えてくれた気がします。
(横須賀市 0様)

今までは間取りを決めるのも家族でけんかになることがありました。本当に家づくりに必要な考え方がわかってきて、家族のコミュニケーションとはこういうことなのかと感じました。この本の内容を参考に家作りを考えていきたいと思います。
(平塚市 K様)

「頭のよい子」と聞くと、単純に「勉強ができる子」の意味と捉えがちです。でも、この本はそれだけでなく、もっと広く、深い意味です。子どものことだけに焦点を当てたものではなく、家づくりに大切なものとは？家族とは？など様々なことを教えてくれる本です。
(鈴鹿市 M様)

無理に子どもと話そうと思えば、自然にリビングに集まるような家づくりを考えれば、子どもとのコミュニケーションは意外と簡単なのかもしれないと思わせてくれました
(金沢区 H様)

住宅のプロが書いた

頭のよい子が育つ家のつくり方

松本 祐
Yutaka Matsumoto

行列のできる工務店社長が明かす
家族みんなが幸せになる
家づくりの極意

家を建てるときに見失ってはいけない大切なことが分かる本